

令和3年6月21日

会 員 各 位

一般社団法人 愛知県建設業協会
専務理事 大 西 克 義

令和3年 第15回建設トップランナーフォーラム
～地域の担い手をどう育てるか～
の開催ご案内について

標記につきまして、このたび、国土交通省中部地方整備局企画部技術管理課から、別添のとおり令和3年第15回建設トップランナーフォーラム「地域の担い手をどう育てるか」の開催について案内がありましたので、お知らせいたします。

なお、本フォーラムはネット中継によりライブ配信され、参加無料となりますので、聴講ご希望の向きは下記 URL の申し込みフォームからお申込みくださいますようお願いいたします。

【申し込みフォーム URL】

<https://ws.formzu.net/dist/S87879789/>

以 上

地域の担い手をどう育てるか

日時：2021年6月25日(金) 14:00~18:00

中継：イイノホール Room Aから、ネット中継

(建設トップランナー倶楽部ホームページよりライブ配信します)

申込方法(参加無料)：以下のフォームからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S87879789/>

建設トップランナー倶楽部ホームページからもお申込みいただけます。

<http://www.kentop.org/>



開催趣旨

建設トップランナー倶楽部は、インフラの町医者をめざして、防災の担い手、インフラの守り手、雇用の支え手として活動してきました。本フォーラムでは、担い手不足が深刻なため、「地域の担い手をどう育てるか」に焦点をあて、「若手の確保と定着への努力」「多様な人材を育てる努力」「地域の人材を生かす取り組み」を発表します。

なお、百年で半減すると予想されている人口減少は、日本の産業構造を変えるかもしれません。限りある人材を業種を超えてシェアする、業種を超えて「地域で仕事を平準化」することが必要になるかもしれません。農業と建設業の多能工化、林建協働など、建設トップランナー倶楽部が推進してきた複業が先駆的意義を持つと思います。

主催 建設トップランナー倶楽部

後援 日本青年会議所建設部会
全国建設業協会
建設業振興基金
建築技術支援協会
日本プロジェクト産業協議会
建設コンサルタンツ協会
地方建設専門紙の会

【問い合わせ先】

建設トップランナー倶楽部 事務局
〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-4
ワイヒルズ 2階 米田事務所内
中川寛子, 大里茂登子
TEL 03-5876-8461
FAX 03-5876-8463
Mail: info@kentop.org
ホームページ: <http://www.kentop.org/>

プログラム

【14時-14時20分】

司会	建設トップランナー倶楽部幹事	野津健市	鳥取県
	建設トップランナー倶楽部幹事	吉崎英一郎	島根県
趣旨説明	建設トップランナー倶楽部代表幹事	米田雅子	
来賓挨拶	国土交通大臣	赤羽一嘉	(予定)
	農林水産大臣	野上浩太郎	(予定)

【14時21分-15時11分】

第1部 若手の確保と定着への努力

アドバイザー	国土交通省 大臣官房技術審議官	東川直正	
	建設業振興基金理事長	佐々木基	
若手の採用・育成・定着・活躍への戦略	三和建設社長	森本尚孝	大阪府
岐阜県人材育成リーディング企業の取り組み	馬瀬建設専務	森本翔太郎	岐阜県
新しい視点で魅力ある広報を	寿建設社長	森崎英五朗	福島県

(発表 各14分/アドバイザーコメント 各4分)

【15時12分-15時48分】

第2部 多様な人材を育てる努力

アドバイザー	国土交通省 不動産・建設経済局審議官	天河宏文	
	厚生労働省 高齢・障害者雇用開発審議官	達谷窟 庸野	
病気と就業の両立等、総合的な就業支援	松下産業社長	松下和正	東京都
女性が活躍できる建設会社をめざして	萩原建設工業専務取締役	萩原一宏	北海道

(発表 各14分/アドバイザーコメント 各4分)

【15時48分-16時05分】 休憩 -----

【16時05分-16時41分】

第3部 地域の人材を生かす取り組み

アドバイザー	農林水産省 農村振興局整備部長	安部伸治	
	林野庁 森林整備部長	小坂善太郎	
スマート農業をめざした農業土木と人材育成	砂子組ICT推進室	八戸政人	北海道
森林と環境のための人材育成	中部森林開発研究会	丹羽庸介	愛知県

(発表 各14分/アドバイザーコメント 各4分)

【16時42分-17時50分】

第4部 パネルディスカッション「地域の担い手をどう育てるか」

国土学総合研究所長	大石久和		
農林中金総合研究所理事長	皆川芳嗣		
小野組社長	小野貴史		新潟県
建設トップランナー倶楽部代表幹事	米田雅子		
コーディネータ			
荒木コンサルティングオフィス代表	荒木正芳		北海道

【17時50分】

総括コメント	建設業技術者センター理事長	谷口博昭	
閉会の言葉	フォーラム実行委員長	竹内大介	青森県

令和3年 第15回建設トップランナーフォーラム

地域の担い手をどう育てるか 発表概要

第1部 若手の確保と定着への努力 【14時21分-15時11分】

若手の採用・育成・定着・活躍への戦略 三和建設社長 森本尚孝(大阪府)

「つくるひとをつくる」を経営理念に掲げ、採用から教育までさまざまな工夫を凝らし、若手社員の定着に努めています。入社後の「ひとづくり寮」研修、社内大学「SANWAアカデミー」、メンター制度などの取り組みを紹介します。

岐阜県人材育成リーディング企業の取り組み 馬瀬建設専務 森本翔太郎(岐阜県)

県独自の「ぎふ建設人材育成リーディング企業」制度で、魅力ある建設現場の環境づくりを実践していることが高く評価され、平成29年度にゴールドランクの認定を受けました。会社基本方針の“自前主義”を支える“人づくり”の実践例を発表します。

新しい視点で魅力ある広報を 寿建設社長 森崎英五朗(福島県)

人材確保に苦心する地域建設業において、今後重要になってくるであろう「広報」のあり方に小さな一石を投じるべく新しい視点からの取組を紹介。女性写真家とコラボした写真集やトンネル貫通写真のインスタグラムなどの情報発信の事例を発表します。

第2部 多様な人材を育てる努力 【15時12分-15時48分】

病気と就業の両立等、総合的な就業支援 松下産業社長 松下和正(東京都)

経営には社員の幸せ保証(やりがい、健全な心身維持、安心・満足感等)が不可欠。厚生労働白書に掲載された当社の社員をワンストップで支える仕組みと、日本対がん協会朝日がん大賞受賞の、治療と仕事の両立支援の取組を紹介します。

女性が活躍できる建設会社をめざして 萩原建設工業専務取締役 萩原一宏(北海道)

女性初の技術者が入社して約10年が経過します。さまざまな試行錯誤を経て女性社員が今思っていることを伝え、現在取り組んでいる社内の仕組みや制度を紹介。女性が当たり前活躍できる建設会社を目指し、日々の努力を続けています。

第3部 地域の人材を生かす取り組み 【16時05分-16時41分】

スマート農業をめざした農業土木と人材育成 砂子組ICT推進室 八戸政人(北海道)

農業従事者の減少、高齢化への対応策としてスマート農業による労働生産性向上が進められる中、北の大地では農業基盤整備工事で得た座標データを有効に活用する試みが始まっています。新しい情報伝達の手法や人材育成の取組についてお話いたします。

森林と環境のための人材育成 中部森林開発研究会 丹羽庸介(愛知県)

森林を通じた環境保全と若手林業後継者の育成を目的とした当研究会は来年、設立40年目を迎えます。伐採木の破碎チップを使った「ウッドチップリサイクルシステム」の普及促進などに取り組んできた39年間の歩みと具体的な取組を発表します。

建設トップランナー倶楽部について

○建設トップランナー倶楽部とは

公共事業が減少する中、新分野進出に挑戦する建設経営者の集まり。平成 18 年に設立し、約 600 社の企業が参加。地域の雇用と社会基盤を守るため、業種の壁をこえて地域産業をおこす副業化を奨める。

代表幹事：米田雅子東京工業大学特任教授

○主な活動内容

・建設トップランナーフォーラム

学識者、建設業者等からなる民間団体が「建設業から他産業への進出」を目的に平成 18 年以降、毎年テーマを設定して「フォーラム」を開催。国土交通省はフォーラムに対し、大臣の挨拶、パネリスト等で支援。

・建設トップランナー倶楽部と国交省幹部との意見交換会

国交省から施策の紹介を行い、建設トップランナー倶楽部の方と意見交換を実施。

■参考：米田雅子（よねだ まさこ）

東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授。

1956 年(昭和 31 年)山口県柳井市生まれ。

建設産業、建設業の新分野進出、農林業再生、地方公共政策など幅広い分野で、フィールドワークを重視した研究と支援活動を行う。先細りする公共事業だけに頼らない生き方を導く提言に、多くの建設業関係者が注目。業種の壁をこえた複業化、農商工連携、林建共働の政策を提唱。

米田雅子 プロフィール

地域建設業、農林業、森林再生、防災減災、地方公共政策など幅広い分野で、フィールドワークを重視し、分野横断的な研究に取り組む。2002年に「建設帰農」、2003年に「林建協働」を提唱。2007年から規制改革会議委員として補助金適化法の弾力運用、酒税法・森林法の改正に寄与。2008年に「複業による地方産業創出」、森林施業のための「基幹作業道」を提案、2010年に「次世代林業システム」「平成検地」、2011年から日本学術会議の防災関連30学会連携、釜石市・大槌町・遠野市の森林再生・復興住宅に取り組む。2012年に「インフラの町医者」「異種の道ネットワーク」を提言、2013年に国産材マーク創設。2016年1月に日本学術会議と連携して、防災学術連携体（55学会）創設・事務局長就任。2016年3月に「森林・農地の有効利用と自然地の公有化」を提言。



<主な現職>

東京工業大学 環境・社会理工学院 特任教授、
日本学術会議 会員、第三部副部長、防災減災学術連携委員長
(一社)防災学術連携体代表幹事、建設トップランナー倶楽部代表幹事 等

<主な公職歴>

内閣府 規制改革会議委員、PFI 推進委員会委員
内閣官房 構造改革特区評価・調査委員
農水省・経産省 農商工連携88選審査委員長 等

<略歴>

山口県柳井市生まれ、柳井高校卒業、1978年 お茶の水女子大学数学科卒業、1978年 新日本製鐵株式会社入社、1986年 夫の赴任に伴い英国・米国滞在、1990年 建設技術の調査会社を設立、1995年 東京大学建築学専攻 研究生・研究員、1998年 NPO 法人建築技術支援協会設立、2006年 東京工業大学特任教授に就任、2006年 建設トップランナー倶楽部設立、2007年 慶應義塾大学特任教授に就任、2007年 建設業の新分野進出支援に関して内閣総理大臣表彰を受賞、2012年 東京大学から博士（環境）取得。2020年に日本学術会議第三部副部長、2021年に東京工業大学環境・社会理工学院 特任教授に就任。2021年3月に防災学術連携体が一般社団法人（59学会）となり、代表幹事に就任。

<主な著書>

『縦割りをこえて日本を元気に』（中央公論新社）	平成 26 年
『大震災からの復旧—知られざる地域建設業の闘い』（ぎょうせい）	平成 24 年
『複業のすすめ—地域建設業の挑戦』（建通新聞社）	平成 23 年
『日本は森林国家です』（ぎょうせい）	平成 23 年
『日本には建設業が必要です』（建通新聞社）	平成 17 年
『建設帰農のすすめ』（中央公論新社）	平成 16 年
『田中角栄と国土建設—列島改造論を越えて』（中央公論新社）	平成 15 年
『建設業の新分野進出—挑戦する50社』（東洋経済新報社）	平成 15 年
『建設業 再生へのシナリオ』（彰国社）	平成 12 年
『NPO 法人をつくろう』（東洋経済新報社）	平成 11 年

<最近の動き>

H29 年度

7月4日 第12回フォーラム 「地域建設業は想定外の災害にどう備えるか」
(石井大臣が来賓挨拶)

11月6日 建設トップランナー倶楽部と国交省幹部との意見交換会
(技術審議官、建設流通審政策審議官挨拶、国交省施策紹介)

H30 年度

6月29日 第13回フォーラム 「地域のインフラメンテナンス」
(石井大臣が来賓挨拶)

10月30日 建設トップランナー倶楽部と国交省幹部との意見交換会
(技術審議官、建設流通審政策審議官挨拶、国交省施策紹介)

2月1日 建設業と農林水産省業の連携シンポジウム
(技術審議官、建設流通審政策審議官挨拶、参加)

R 元年度

6月28日 第14回フォーラム 「原点回帰—複業で地域を支える」
(石井大臣が来賓挨拶)

11月7日 建設トップランナー倶楽部と国交省幹部との意見交換会
(建設業課長、公企課長挨拶、国交省施策紹介)

2月7日 令和元年度 建設トップランナー倶楽部幹事会 総会・研修会
(建設市場整備課 企画専門官 施策紹介)

R2 年度

※令和2年度に予定をしていた建設トップランナーフォーラムは新型コロナのため中止

11月18日 建設トップランナー倶楽部と国交省幹部との意見交換会
(技術審議官、不動産・建設経済局審議官挨拶、国交省施策紹介)

2月15日 建設業と農林水産省業の連携シンポジウム
(技術審議官、不動産・建設経済局審議官参加)

<令和3年度の予定>

6月25日 第15回フォーラム 「地域の担い手をどう育てるか」
(大臣が来賓挨拶、技術審議官、不動産・建設経済局審議官がアドバイザー参加)